

各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者(Youth Energy Generalist)を表現しています。

日本YEG Vol.54-1

SHOUSEI

翔生

平成22年 1月号

発行:日本商工会議所青年部(日本YEG)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2
日本商工会議所 中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847 <http://yeg.jp/>
編集:広報委員会
委員長:藤原 浩晃
副委員長:河野 渡/新井政秀
理事:大江 匠/青木聡明/田中 修/有座宏文
野崎 良/神部吉昭
専門委員:五十嵐 亮/吉田 修/小林弘明
井野口 豊/川崎亮一/水野久美子
延原正浩/梶原康彦/宮内俊治



P1

日本商工会議所 青年部 第27回全国会長研修会

奈良まほろば合議

主催:日本商工会議所 青年部 主管:奈良商工会議所 青年部 副主管:奈良県商工会議所青年部連合会

開催日:平成21年11月26・27・28日

P2

日本全国に響いた「ガッツ(GUTS)!YEG」
奈良で全国会長研修会を開催



P3

大会実行委員長 御礼文
奈良YEG研修部会長 御礼文
事務局部会 御礼文
式典部会 感想文
広報部会 御礼文
懇親会・交通警備部会 御礼文
登録宿泊部会 御礼文

P4



まほろばGallery

P5

■焼津商工会議所青年部設立のご報告

・焼津商工会議所青年部概要

焼津シャツ事業

焼津の夏の風物詩である服「魚河岸シャツ」を原型にした「焼津シャツ」のデザインを広く募集する。最優秀賞に選ばれた作品は実際に焼津シャツとして作成、販売される。平成21年度は90作品の応募があった。



P6

■四日市商工会議所青年部設立会員総会のご報告

- ・青年部設立総会
- ・青年部と正副会頭との懇談会
- ・役員一覧



日本商工会議所 青年部 第27回全国会長研修会

奈良まほろば合議

主催：日本商工会議所 青年部 主管：奈良商工会議所 青年部 副主管：奈良県商工会議所青年部連合会

開催日：平成21年11月26・27・28日



奈良で全国会長研修会を開催 日本全国に響いた「ガッツ(GUTS)！YEG」

今年度より、日本YEG行事のサイクル変更が実施され、平成21年11月26日(木)、27日(金)、28日(土)に日本商工会議所青年部第27回全国会長研修会奈良まほろば合議が開催されました。

「新たな挑戦 大和の国から「ガッツ(GUTS)！YEG」を分かち合える仲間と共に情熱の探求！」をキャッチフレーズに北は北海道、南は九州沖縄までの全国334単会から過去最多の1,410名のご登録を頂き奈良の地で開催いたしました。

全国会長研修会は全国各地のYEG会長や次年度会長予定者、また次代を担う情熱ある会員、担当の事務局員を対象に、地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚を図り、YEGの活性化と一層の充実に資することを目的として毎年開催しているものです。

初日は、日本YEGの諸会議を文化会館前泊者交流会を奈良県新公会堂で行い会員同士が懇親を深めました。また、西口廣宗奈良商工会議所会頭、豊澤安男奈良商工会議所副会頭にもご臨席賜り翌日に控える奈良まほろば合議の開会に華を添えて頂きました。

2日目は開会式終了後、エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社の松浦勝人社長にエイベックス創業者が語る「リーダー論」をテーマに基調講演を行って頂きました。

創業から現在までの経験を振り返り、求められる経営者像をご講話され、リーダー論

について熱く語って頂きました。

その後、今年度会長、次年度会長予定者、商工会議所事務局員、情熱ある会員のつづの分科会「ガッツ(GUTS)」に分かれて地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚を図るとともに、YEGが直面する課題等について意見交換を行い、青年部組織の活性化と一層の充実を図る2日間の研修会がスタートいたしました。

研修会終了後には、ホテル日航奈良、奈良ロイヤルホテルの2会場で盛大に懇親会を行い、柿の葉ずしや大和牛などを使った料理で全国から参加して頂いた方々に奈良の特産品を堪能して頂きました。

3日目は日本YEG会員総会の後、全体研修会を開催致しました。全体研修会では、「ONETEAMYEGの今と明日を見つめて」と題し、日本YEG平成21年度山内会長・平成22年度西居会長予定者・平成15年度鈴木会長にパネラーとしてご登壇頂きディスカッションを頂きました。

全体研修終了後は、閉会式へとスムーズに流れ、3日間の会長研修会を無事大成功に終えることができました。今回の研修会では2日間に渡り、メイン会場の前で「奈良魅力彩発見」と題し、奈良の特産品を集め研修会にご参加頂いたYEGのメンバーだけでなく、市県民や観光客の皆様にも楽しんで頂ける新しい形の物産展を試みました。

こちらも大成功に終えることができ、また実際に市県民や観光客の皆様にも喜んで頂くことが出来ました。

大会実行委員長 御礼文

全国のY E Gの皆様へ

日本商工会議所青年部 第27回全国会長
研修会「奈良まほろば会議」大会実行委員長
の松本和也です。

まずもって、今大会へお越しいただき
ました皆様おひとりお一人に心より感謝
申し上げます。

大会期間中は、ご不便をおかけしたところ
も多々あったかと思いますがY E Gの友情
に免じてお許しただければ幸いです。

今回の「奈良まほろば会議」は、情熱を注ぎ
込むことが出来る「頑張れる」「気力のある」
「根性のある」全国のY E Gの仲間と共に、
「ガッツ(GUTS)Y E G」の精神でやり
遂げる事が出来たと思います。

今後この精神を胸に持ち、皆様と共に
成長し続ける所存です。

それでは皆様、3月にえひめ松山大会で
お会いできることを楽しみにしています。



奈良Y E G研修部会長 御礼文

奈良Y E G研修部会長
塚本 勝

今回、奈良で会長研修会議が開催される
ことになり、まさか部会長に任命されるとは
思っていませんでした。

最初は、内容がよく分からない状態でした
が、実行委員会を重ねるうちに段々重要な
ポストに付いていることに気が付いてしま
した。

担当は基調講演と分科会。

基調講演の講師を選定するのにも色々
と講演を聞きに行ったり、知り合いをたどつ
たりと走りまわっていましたし、分科会の
内容もちゃんぶんかんぶんでした。

日本の委員会にもオプザーバーで出席
させてもらい、大津・彦根・加古川・豊橋・
千葉と知恵を借りに行かせてもらい、色々
なアドバイスを頂きました。

頭の中がいつぱいでものすごくあせって

と講演を聞きに行ったり、知り合いをたどつ
たりと走りまわっていましたし、分科会の
内容もちゃんぶんかんぶんでした。

日本の委員会にもオプザーバーで出席
させてもらい、大津・彦根・加古川・豊橋・
千葉と知恵を借りに行かせてもらい、色々
なアドバイスを頂きました。

頭の中がいつぱいでものすごくあせって
いる時、日本の委員会の方に声を掛けて
もらった一言が印象に残っています。それは、
『この大会、奈良さんだけが背負うんでは
ないですよ！日本のメンバーも一緒に頑張る
から、良い大会をつくり上げましょう！』
こう言ってもらった時、ホット肩の荷が降りた
ような気がしました。

大会直前になると、毎週毎週、日付が
替わっても部会が続ぎ、案を出しても出し
ても変更や追加事項で終わりの無い日々が
つづきました。

いよいよ大会当日、どうなるかと不安で
いつぱいでしたが、メンバーみんなの協力と
笑顔でなんとか自分たちの持ち場はクリア
できたと思います。

その半面、他の会場や内容を見ることが
出来なかつたのが残念でした。

閉会式の伊藤大会会長の挨拶では熱い
物が込み上げて来ましたし、解団式では熱い
物が止まらないほど感動してしまいました。
この大会を通して感じた事は、Y E Gメン
バーってものすごいパワーを持った仲間と
思いました。

この大会に参加させてもらい、部会長を
させてもらって、とても光栄に思います。

部会のメンバーを始め、奈良Y E Gの
メンバー・県連のメンバー・日本のメンバ
ー・OBの方々・事務局の方々に本当に助けられ
ました。

本当に本当にありがとうございます。

事務局部会 御礼文

全国のY E Gの皆様へ

第27回全国会長研修会奈良まほろば会議
では事務局部会として、メンバー配置割振り、
参加メンバー誘導、前泊者交流会、物産展を
主に担当させていただきました。「奈良まほ
ろば会議」の全体像を把握していなければ
ならない部会であり、また誘導に関しては
当日の周辺状況、来場者数の増減に現場での
調整をしなければならぬので事前準備を
念入りに行い、コミュニケーションを繰り返
し臨みました。また前泊者交流会では様々な
イベントで、参加されるメンバーの方々に
懇親を深めて頂き、「奈良」をお楽しみ頂ける
よう、入念に企画を練りました。当日参加者
の増減等課題は山積でしたが、多くのご来賓
メンバー、OBの方々のご参集のもと無事
に終了することができました。また新たな
スタイルを提案した物産展では全国のメンバ
ー及び観光客、市民の来場で賑わい、出店者
の方にも喜んで頂きました。日本Y E G、奈良
県連のご協力のもと、約1年の準備期間の
成果を発揮することができました。本当に
ありがとうございました。



式典部会 感想文

私ども総務・式典部会は、部長である私
上田祐輔が日本YEG専門委員を兼任させ
ていただいた事もあり普段よりメンバーと
なかなか密な打合せをすることが出来ない
という現実と反省がありました。しかしその
ような状態の中でも部長をサポートする
ために部会のメンバーがワンチームとなつて
準備に勤しみ、強力な結束力を持つて当日
を迎えることができました。

「奈良まほろば会議」本番は11月25日
より奈良県文化会館国際ホールに会場入り
し機材搬入及び設営作業を行いました。

翌26日は、日本YEG企画委員会の皆様
にも参加して頂きまして開会式のリハーサル
を行いました。飯田近畿ブロック代表理事、
藤井出向理事にもご教授頂いた直前のプレ
リハーサルの成果もあり、大きな変更箇所の
ご指摘等もなくスムーズに行うことが出来
ました。

そして27日の開会式本番当日は、「奈良まほ
ろば会議」のスタートを飾るといふ重要性
に式典部会のメンバー全員が重い緊張感に
包まれていました。しかしそれと同時に、1年
以上かけて築き上げてきたものの集大成
を出し切るのだという強い気持ちに心が
沸いていました。

開会式オープニングは、奈良県警察本部
警察音楽隊様に特別演奏を行っていただき
ましたが開始時はホール内に人がまばらで、
一時はどうなることかと思いましたが、日本
YEGの皆様のご協力もあり時間が経つにつ
れ会場が埋まり最終的にはたくさんの方の
皆様にお聞きいただくことができました。

開会式本番は、横田晴行副部会長の指揮の
元、司会進行役の中村守副部会長の頑張りの
部会メンバーの連携のお陰で多くの皆様の

前で盛会に終わることができました。

そして開会式終了後は、閉会式のリハー
サルと日本YEG会員総会及び全体研修の
会場セッティングについて最終の詰め作業
を行い、部会のメンバーが全国各地より
お集まりいただきました。ガッツYEGの
精神を持った仲間達ともふれあえた事にも
喜びを感じました。

最終日の28日の閉会式には、式典部会の
全員が緊張感と充実感を持つて臨み、涙の
解団式を経て滞りなく式典の全スケジュール
を終了することができました。

今回の「奈良まほろば会議」では奈良
YEGメンバーはもちろん日本YEGの
皆様にも多くのご指導、ご協力をいただき
ました。また、式典部会の一人ひとりがそれ
ぞれの役割を十分に理解した阿吽の呼吸で
の働き、そしてこの生涯忘れられない思い出
をつくるチャンスを頂いた全ての皆様に
感謝致します！
ありがとうございました！！



広報部会 御礼文

全国のYEGの皆様へ

広報部会と致しましては、開催当日まで
の対外的な広報活動、登録グッズ及び記念
誌の作成、当日の記録撮影を担当しました。
まず、まほろばジャンパーにのぼり、横断幕を
作成し全国大会、各ブロック大会で各開催地
にてPR活動をしてまいりました。そして
そのPR活動と奈良まほろば会議をより
多く知っていただきたくホームページを
利用して広報活動状況のブログをアップ
しました。登録グッズにつきましても奈良
の特産品の吉野のはし、せんとくんクッキー、
記憶に残るまほろば会議のロゴをデザイン
した靴下などを用意でき皆様に喜んでいた
だけだと思います。

部会が立ちあがってから当日のまでの
長いようで短かった日々を今振り返ります
と、本当によくやってこれたなと感じます。



なにかから手を付けたらいいのかわからない
中でしたが、日に日に先が見えて来て、みんな
が一致団結し、取り組めました。一つになる
ことの大切さも改めて知ることができま
した。

日々の広報活動が実を結び登録人数も
1410人に達しました。広報活動に協力
頂いた皆様、そして日本YEGの皆様、ご協力
頂き本当にありがとうございました。



懇親会・交通警備部会 御礼文

全国のYEGの皆様へ

この度の、第27回全国会長研修会奈良まほろば会議、懇親会・交通警備部会を担当いたしました奈良YEGの服部です。

全国からこの「まほろば会議」に参加され、研修会後の息抜きができる懇親会を担当するということになったときは、非常に荷が重たい気持ちで一杯でした。部会のメンバーと幾度と会議を重ね、ホテルとの打合せに何度も出かけ、バス会社には（それは無茶です。）といわれ、やっとすべてが形になったのは開催一週間前でした。

当日は部会メンバーが一人何役も動いてくれて、1400人もの大懇親会を事故もなく運営できたのは、そこに奈良YEGの「おもてなしの心」があったからではないでしょうか？本当に良い経験をさせて頂きました。（一度きりで結構です…）この貴重な経験をこれからのYEG活動にいかしていきたいと思います。



登録宿泊部会 御礼文

登録宿泊部会長

前田 剛志

入会してから全国事業の経験がなく、またサイクル変更の最初の大会ということもあり、また、登録・宿泊担当の部会長という大役を仰せつかり、非常に緊張しておりました。

大会登録が始まってから思うように登録数が伸びず、不安に思っていたのもつかの間、登録締め切り目前に一気に登録をいただき、気が付けば1400名を超え、登録単会数も330を超えました。これもひとえに各ブロック大会でのPRの成果および全国の皆様の意識の高さの結果だな感謝いたしました。

その時点で、開催まですでに1カ月を切った状態でしたので、それからの準備は時間との戦いでした。遅くまで会議を重ね、開催ギリギリまでまったく余裕のない状態でした。

しかしながらそんな状態だったからこそ皆一つになり、今まで以上に一致団結し、活動することができたと思います。今回の大会を終え、私自身本当にいい経験をさせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。



まほろばGallery



焼津YEG



焼津商工会議所青年部概要

設立年月日 平成10年1月22日
(親会の設立は昭和26年9月25日)

会員数 30名

年齢制限 49歳

年会費 24,000円

会長名 米澤智隆

事務所連絡先 静岡県焼津市焼津4-9-1
TEL054-628-6251
FAX054-628-6300

組織

会長 1名

副会長 3名

研修委員長 1名

総務委員長 1名

交流委員長 1名

監事 2名

平成21年事業

- 研修委員会活動 焼津YEG研修会
- 総務委員会活動 焼津YEG通常総会
焼津YEG臨時総会
- 交流委員会活動 焼津YEG視察研修会



焼津シャツ事業

焼津の夏の風物詩である服「魚河岸シャツ」を原型にした「焼津シャツ」のデザインを広く募集する。最優秀賞に選ばれた作品は実際に焼津シャツとして作成、販売される。平成21年度は90作品の応募があった。

四日市商工会議所青年部 設立会員総会

開催日：平成21年7月28日

会場：四日市商工会議所1Fホール

講師：株宮崎本店 代表取締役 宮崎由



青年部設立総会

四日市商工会議所青年部の設立会員総会が7月28日、会議所1Fホールで開催され、会員52人をはじめ、来賓の田中市長、加瀬・日商青年部副会長、大南・県商工会議所青年部連合会長ら約80人が参加した。

総会では、まず齋藤会頭が、「若い力で切磋琢磨し、柔軟な発想や機敏な対応で会議所にとどし意見を提言してほしい」と挨拶。ついで来賓の田中市長が「自己研鑽と交流、そして政策を提言、四日市を元気にする若いエネルギーと発想に期待したい」とお祝いの言葉を述べた。

このあと、協議事項に入り、規約の承認、会長・役員承認、21年度事業計画、収支予算など決めた。

また設立記念講演会として講師の宮崎本店社長・宮崎由至氏が「老舗は革新の連続」をテーマに講演した。続いて懇親パーティーでは、竹尾副会頭、仲井・四日市JC理事長が挨拶、浜田県商工会議所青年部連合会相談役の音頭で乾杯。青年部設立を祝い、なごやかに懇談した。

青年部と正副会頭との懇談会

21年度正副会頭と青年部との懇談会は11月2日、当所会議室で開催。青年部から33人が出席した。

はじめに齋藤会頭が挨拶。続いて水谷青年部会長が「今年度は組織を地固めして来年度からスローガンを掲げて本格的に活動したい」と挨拶した。

次いで齋藤会頭が「商工会議所活動とは」をテーマに講話。その中で齋藤会頭は、当会議所

①会員に信頼され、なくてはならない会議所としての位置付け

②積極的に発言し行動する会議所

③会員になって良かったと言われる会議所づくり等、目指す方向を示した。

さらに中小企業の支援や中心市街地まわりの活性化、産業基盤の整備など今年度の事業計画と課題について説明した。

また今後の青年部に対して

①自己変革の場として成長をはかってほしい
②会議所や地域に意見提言をお願いしたい
③新しい青年部(硬派)の形と理念をつくり出してほしい

と期待を述べた。引き続き、第2部は1階ホールで懇談会を開催し、なごやかに懇談した。

会 長	水谷 慎 志	水九印刷株式会社	社 長
副 会 長	竹 尾 典 晃	株式会社竹屋	社 長
副 会 長	廣 田 知 美	昭永工業株式会社	専 務 取 締 役
理 事	佐久間寿仁	株式会社スエヒロEPM	営 業 技 術 部 長
理 事	山 本 佳 孝	釜屋株式会社	取 締 役 総 務 部 長
理 事	岡 本 浩 延	株式会社岡本	総 本 店 社 長
理 事	川 村 公 博	有限会社伊藤經節店	専 務 取 締 役
監 事	森 寺 浩 一	森寺工機株式会社	社 長
監 事	藤 原 和 彦	藤原工業株式会社	社 長
顧 問	堀 木 俊 男	アビオン株式会社	社 長